

ニュルブルクリンク24時間耐久レース2024参戦体制発表

Birth Racing Project【BRP】(以下、BRP)は、2024年ニュルブルクリンク24時間耐久レースに、サンライズブルバードと共にPorsche 718 Cayman GT4 CS で参戦する事を決定した。

BRPでは、2011年よりドイツのニュルブルクリンクへの参戦を開始し、数多くの表彰台を獲得し2016年には、SP3クラス優勝も達成するなどの実績を残していますが、近年は新型コロナウイルスの影響により、継続していたチャレンジを一時中断していました。そのニュルへのチャレンジをスーパー耐久でもパートナーとして活動を共にした、サンライズブルバードと共にプロジェクトを再スタートします。プロジェクトは今年の4月に開催された前哨戦となるNLS1(4時間耐久レース)ではPETNクラス(Porsche Endurance TrophyNürburgring)3位の好成績を残し、既に24時間レースに向けて万全な準備を進めています。チーム体制はドイツの「mcchip-dkr」とタイアップし、サンライズブルバードと両社共にポルシェのスペシャリストであり、強力なバックアップ体制で参戦致します。

ドライバーにはBRPの奥村浩一と、サンライズブルバードの福田幸平の日本人コンビと、ニュルでの走行経験が豊富なドイツ人ドライバー2名の4名体制で、過酷なニュルブルクリンク24時間耐久レースに挑みます。

【ニュルブルクリンク24時間耐久レース2024参戦体制】

参戦クラス **CUP 3 クラス**

参戦車両 **Porsche 718 Cayman GT4 CS**

チーム名 **mcchip-dkr(ドイツ)**

カーナンバー **#945**

ドライバー **奥村 浩一(日本) / 福田 幸平(日本)**

Markus Nölken(ドイツ) / Philipp Eis(ドイツ)

サポート **mcchip-dkr(ドイツ)**

サンライズブルバード(日本)

マンタイレーシング(ドイツ)



Birth Racing Project【BRP】代表コメント

新型コロナウイルスの影響により中断していた、ニュルブルクリンクへのチャレンジが、いよいよ再スタートします。ドライバーとして久しぶりのドイツの現場となりますが、今まで共に戦ってきたエンジニアやメカニックと合流する事ができ、安心できるメンバーで充実した体制で、過酷なニュルの24時間の戦いに挑める事に今から非常に楽しみです。車両も日本国内でもS耐に投入しているPorsche 718 GT4を使用する参戦となり、国内外でPorscheを使用する事は、BRPにとっても知識・経験の蓄積に大きく寄与する事となり、チームにとっても非常に価値のあるチャレンジとなります。

BRPのニュル24hへのチャレンジにご支援・ご声援の程、何卒よろしくお願い致します。

Birth Racing Project【BRP】代表 奥村 浩一